柏の芽

発行所
社会福祉法人
柏学園
広島県安芸郡府中町
青崎東7-12
TEL(082)282-6500
発行人　米川　晃
印刷所
株式会社　中本本店
TEL(082)221-9181

瀬野キャンパス　安芸区民生委員との交流会

柏の実苑　前期レクリエーション

柏学園　夏祭り

瀬野キャンパス　盆踊り

新たな地域づくり

瀬野キャンパス　施設長　中村　毅

暑い夏がやって来て、広島は被爆七十二周年の平和記念日を迎え、瀬野キャンパスでは、全員で黙祷し命の尊さを再確認しました。

そして、広島土砂災害から三年目を迎えました。多くの犠牲者を出し、その教訓から広島市自立支援協議会に設置した災害対応プロジェクトにおいて被災された障害児（者）に対する生活再建のための支援について、より円滑かつ効果的なものとなるよう検討してきました。その結果、「サービス等利用計画等を使用した『災害後の生活支援』事務処理手順」が出来上がり実施することになりました。それから、瀬野キャンパスも広島市と「福祉避難所」の協定を結びました。

昨年七月、厚生労働省は「地域共生社会実現本部」を発足させ、これまでの福祉の縦割り行政を総合相談支援を中心とした「丸ごと」と共に、他人事を「我が事」として取り組むことができる地域包括ケアシステムを構築し、日本がかつて持っていたコミュニティーの強さを取り戻すと宣言しました。それから、障害者の重度重複化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築する「地域生活支援拠点事業」があります。

広島市では、平成二十九年度に一ヶ所、その後、各区に一つ作る予定です。

瀬野キャンパスも将来を見据え、この事業を考えています。そのため、①地域包括センターと多種職連携の勉強会をしたり、②瀬野川地区の商工会との農福連携について話し合ったり、③広島市自立支援協議会（安芸区地域福祉部会）④地域住民との話し合い（福祉・防災時の協力体制）⑤教育・福祉の連携を今以上に取組んでいこうと思っています。

これからは「地域づくり」が大切なキーワードとなっていくと思っています。

利用者、家族、地域住民の声を聞かせてもらい、瀬野キャンパスで何が出来るか職員と共に考えていきたいと思っています。

これからもご指導の程、よろしくお願い致します。

幼児発達支援センター
柏　学　園
（所在地）
安芸郡府中町青崎東
７-12
TEL（082）282-6500

主に就学までの子どもたちが通って来ています。子どもたち一人一人の気持ちと発達段階を充分に理解し、ご家族の方々との話し合いを大切にし、親子共々希望と元気が出る療育を目指しています。

可愛いからのコミュニケーション

柏学園　下谷明日香

私が担当するクラスのお子さん、主に女の子達の間で日課になっている光景があります。それは〝可愛い物をみつけること〟です。きっかけは何気ない一言で、「可愛いリボンの洋服に着替えよう」と何度か誘ったことだったと思います。新年度になり、新しい環境に緊張し、話しかけられると下を向くことが多かったお子さんですが、「可愛い」という言葉が嬉しかったようで、何度かやりとりをすると、そのリボンの服を着るときに「可愛い？」と自分から話しかけてくれるようになりました。初めはリボンだけでしたが、ハート、ピンク色、きらきら光る物など、今ではたくさんの可愛い物を見つけて教えてくれます。また、その可愛いがお友達との関わりにもなっており、お友達の持ち物を見て「お花、可愛い」と言ったり、お子さん同士で洋服や髪留めを見せ、笑いあったり、その他にも、そのやりとりを見ていた他のお子さんが、自分の服を引っぱって大人に見せに来て、「可愛いね」と言ってもらうととても嬉しそうにしていたり、男の子も自分の洋服を指さしたりするようになってきており、今ではクラスのコミュニケーションのひとつになっています。

何気ないやりとりがこのように広がっていくことに驚くと同時に、こういった小さなやりとりを積み重ねていくことを大切にしていきたいと改めて感じる出来事でした。

障害者生活支援事業
柏の実苑
（所在地）
安芸郡府中町青崎東
７-12
TEL（082）282-6500

19才から61才までの知的な発達に障害のある方達が、社会参加や自己実現を目指して家庭から通い、職業指導・生活援助を通して日中活動の場を提供しています。

日々の活動で感じたこと

柏の実苑　藤賀　景子

ある日の作業中、職員が利用者の方に作業を促していました。その作業工程は、以前その利用者の方に何度か挑戦してもらおうとしたことがありましたが、難しくて行えないと涙した工程だった為、私はその利用者の方にその工程は行わず、違う工程を行ってもらうことにしていました。しかし職員はその作業を行ってもらおうと一生懸命教えていました。すると、その利用者の方は拒むことなく行おうとしていました。私はその姿を見て驚いたと共に、勝手にやらないと決めつけてしまっていたのだと思いました。そしてこのことをきっかけに、利用者の方々にいろんなことに挑戦してもらいたいと思うようになり、今まで出来なかったことや、拒んでいたことに再び挑戦してもらいました。もちろん今までのように出来ないことがある利用者の方も沢山おられましたが、出来なくても挑戦してみようとする姿を見ることが出来ました。また、再び挑戦することで今まで出来なかったことが出来るようになった利用者の方もおられ、諦めることなく挑戦することの大切さを改めて実感しました。

年数を重ねるにつれ、この利用者がどのくらいのことが出来るのか分かるようになってきますが、今まで出来なかったことを出来ないと決めつけてしまわないよう、利用者の方々にいろんなことに挑戦してもらえるよう、環境や方法を考え工夫していきたいと思います。

知的障害児居住施設
瀬野川学園
（所在地）
広島市安芸区上瀬野
南一丁目338-3
TEL（082）894-8958

知的な発達に障害のある児童の居住する施設です。現在8才から32才までの15名が起居を共にし基本的生活習慣の確立をめざしています。学齢児は特別支援学校へ通い、18才以上の人達は将来の社会的自立をめざしています。

夏休みの過ごし方

瀬野川学園　**新潟　直喜**

今年の梅雨は全国の多くの観測地点で短時間降水量が観測史上最多を記録し、特に福岡・大分両県を襲った未曾有の豪雨では甚大な被害が発生しました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げるとともに、少しでも早く日常の生活が取り戻せるよう願ってやみません。

さて、各地に災害の爪跡を残した梅雨が明け暑い夏がやって来ました。本格的な夏到来と共に、瀬野川学園の子ども達は暑い（熱い）夏休みに突入します。家庭で生活されているお子さんでしたら、夏休みに旅行へ出かけたり海や山でキャンプをしたり等色々な体験をするとともに想い出作りが出来ます。しかし、残念なことに学園の子ども達はその様な機会を持つことが殆どありません。

その様な中で、彼等が怠惰で退屈な日々を過ごすことなく、尚且つ種々の経験を通して社会との繋がりを持ち、少しでも想い出作りが出来るように職員間で意見を出し合い、夏休み期間中の過ごし方についてまとめました。水遊びやおやつ作りの他に、個別あるいは少人数での外出等々、現状で提供可能な支援メニューを予定しています。さらに八月二十五日には宮島へピクニックに出掛けます。むろん遊びばかりでなく、宿題や課題のある方には毎日勉強の時間を設定することで、夏休みの終わりに慌てることがないよう支援していきます。

知的障害者居住施設
安芸柏の実苑
（所在地）
広島市安芸区上瀬野
南一丁目338-3
TEL（082）894-8958

平成13年８月１日より発足した成人施設です。知的な発達に障害のある大人の生活居住施設です。現在29才から49才までの男性20名が起居を共にし、農耕・軽作業・洗濯・清掃などの作業を通して社会適応をめざしています。

「変わること」と「変わらないこと」

安芸柏の実苑　**沖川　真美**

今年度、瀬野では八名の職員の異動がありました。「所属の枠にとらわれず様々な視点で全利用者を支援する」という異動の意図は理解していますが、十年間児童とメインで関わってきた自分が成人男性ばかりの安芸柏の実苑所属になるということは、やはり多くの変化を伴いました。

担当する利用者さんが全員年上になり、平均年齢四十代の皆さんが長年かけて作られたこだわりに対応することに、難しさとやりがいを感じる毎日です。担当の切り替えが難しい方や、私に言えば通るのではないかと割と無茶な要求をしてくる方もいて、日々試され鍛えられています。

しかし、あっという間に半年が経った今、福祉施設職員としてやることは基本的には何も変わらないのだという当たり前のことにやっと気付くことが出来てきました。相手が児童でも成人でも、私の役割は「皆さんの快適な生活をサポートすること」「笑顔の多い豊かな人生を送る為のお手伝いをすること」に変わりありません。「変化することが苦手」と言われがちな彼らに少しずつ受け入れてもらうことは、彼らの成長や今までの経験を活かす場面を見られたのだと感じ、とても嬉しく思います。これからも変わることの新鮮さを楽しむと同時に、変わらないことの大切さを忘れず、皆さんと共に笑顔溢れる日々を送っていきたいです。

障害者生活支援事業

安芸柏の実苑通所部

（所在地）
東広島市志和町大字志和堀字下十日市山337
TEL（0824）33-5690

知的な発達に障害があり、主にグループホームなどで地域生活をしている19名に、日中活動の場を提供しています。

「志和福祉ランド」（東広島市）において、農耕・軽作業・洗濯などの作業を通して、社会参加や自己実現を目指しています。

利用者の思いを聞いて

安芸柏の実苑通所部　角田　芳郎

ご存知の通り、福祉サービスを利用するにあたっては、個々の「サービス等利用計画」を作成するのですが、私もその一端を相談支援専門員と連携しながら携わらせてもらっております。

その中でも主に通所部の利用者の声や活動の様子を窺いながら感じることがあります。通所部利用者の半数以上が元瀬野キャンパスの利用者であり、「生活の場をグループホームに、活動の場を通所部に」と移行したわけですが、その頃よりハキハキと自分の意見や思い、感想を伝えることが上手に出来ていることに感心すると共に、そのような成長が垣間見られたことに感慨深いものがあります。日頃から彼らの様子を見ているのですが改めて面談の席を通して感じました。

しかし、自分の思いを伝えられる人ばかりでなく、自分の意思をうまく表現することが困難な人も多くいると思います。今までの暮らし方や環境、情報、経験等々が、自分の思いとなって「自分らしい暮らし」に繋がるものと思います。支援者として、利用者個々の思いや様子をうまく汲み取りながらサービス等利用計画の作成、意思決定に向けた支援に当たりたいと思います。

施設支援・生活介護事業

瀬野柏の実苑

（所在地）
広島市安芸区上瀬野南一丁目338-3
TEL（082）894-8958

知的な発達に障害のある成人の生活居住施設です。現在31才から83才までの男女40名が起居を共にし、農耕・軽作業・洗濯・清掃などの作業を通して社会適応をめざしています。

昼食時のひとこまから

瀬野柏の実苑　宮原　玲子

ある日、気分転換になればということで、ある利用者さんが他寮の食堂で昼食を食べられたことがありました。彼女は普段と変わらず一心に食べられ、合掌をした後女子寮に戻って来られました。その時まだ女子寮は昼食中でした。すると食べ終えられていた彼女は慌てたように食堂に入って来られ「私のごはんは？」と言われました。私達職員は顔を見合わせながら「もう食べてきたじゃないの。」と答えました。最初はなんとなく怪訝そうな表情をされてはいましたが、食べたと言われ納得もされた様子で、その場は笑い話で終わりました。

しかし、あとで彼女の言動をふり返った時にハッとしました。私たちは、食事は一食しかないという事を周知しているので、別の場所で食べたらもうないという事は当たり前に考えつきます。しかし、もしかしたら彼女は、私たちの知る当り前とは全く違う発想で物事をとらえているのではないか？　と。

今までの自分をふり返ると、相手を思って行動しているつもりでも発想は自分発信のものでしかなかったように思います。しかし彼女から、もっと柔軟な発想で利用者の方と関わる事の大切さを教えてもらえた気がします。昼食時のひとこまでしたが、私には光明を投げかけられた出来事となりました。

地域支援事業

良い出会いにするために

瀬野川学園相談支援事業所　次郎垣内　友成

七月中旬に、広島県相談支援従事者初任者研修の共通講義が行われました。その講義の中で、「障害者の地域生活支援」で障害のある方と一緒に登壇しコーディネート役をやらせてもらいました。受講生の方にどのようにすれば本人の思いや考えが伝わるのか試行錯誤しましたが、結局、本人さんの頑張りでとても良い発表になったと感じています。お母さんからのコメントも頂いて、是非お母さんにも登壇してもらい、お母さんの口から受講生に対してのコメントをして欲しかったのですが、見事に断られてしまいました。

ふと私が相談支援専門員として働いていなければ、こんなに良い出会いはなかった、出会いって素敵だな！　と感じました。

以前ある方から「あなたが相談者にどう向き合うのかで相手は大きく変わるよ！　しっかり向き合ってね！」と言われたことがあります。その言葉を大切にして、相談支援専門員として計画相談支援に携わり、多くの方との出会いを大切にして、本人、家族の思いの実現のための手段である「サービス等利用計画」を作成させてもらっています。作成する際には、本人、家族の方から様々な思いや考えを聞かせてもらっています。漠然とした思いは同じとしても、今置かれている状況、育ってきた環境、将来への希望は、誰一人として同じではないと思い、話を聞かせてもらっています。

相談支援専門員の仕事に携わることがなければ、こんなにも多くの方の思いや考えを聞かせてもらうことはなかったですし、出会いもしなかったと思います。今までの出会い、これからの出会いを大切にして、これからも多くの人の思いに寄り添い、汲み取り、少しでも思いの実現のサポートができたらと思い、毎日奔走しています。

地域でいきいきと

地域の掘り起し

瀬野川学園相談支援事業所　柄　康弘

相談支援で何が一番大切なのか私なりに考えると、やはり地域の掘り起しだと考えます。

長い間、地域の仕事に就いていると、地域の中で福祉という繋がりもなく、家の中で生活することが余儀なくされる障害者とその家族がいること。いち早く気付いてあげなければなりません。また、隣近所に対して迷惑をかけているが誰にも相談出来ず潰れそうになる、そんな地域の中で孤立してしまうような家族がいること。やはりいち早く気付いてあげなければなりません。この様な家族が多いことも現実です。相談がなければ動けないということではその様な現実は伝わってこないと思います。いずれにしても地域の掘り起しでは情報のツールを地域の中でもっておくことが必要です。

今、そんな地域づくりを進める二つの施策が示されています。障害者施策では高齢化、重度化や「親亡き後」も見据えつつ誰でも、いつでも安心して生活できるという主旨の「地域生活支援拠点の整備」という施策。制度上のサービスに頼らず地域に住む高齢者・障害者・児童を一体的に支援する地域のコミュニティづくりを目指し「地域共生社会」を掲げる施策です。拠点事業では地域の掘り起し、共生社会では地域住民の相互扶助の精神の高揚と地域での支え合いの仕組みが期待されます。これまで地域の中で孤立している人がいる現状を考えれば、地域で安心して生活でき、色々な人の支え合いがある生活の実現は本当にすばらしいことだと思います。

まだまだ現実味に欠け、課題は多くありますが、「地域でいきいきと」を目指し、いち相談支援専門員として、自分の果たすべき役割をもって、実現に向けて努めていきたいと思います。

瀬戸内セミナーに参加して

柏学園　白石　友梨

先日、六月六日～八日の三日間、廿日市市の宮島で行われた瀬戸内セミナーに参加させて頂きました。毎日子ども達と楽しく充実した日々を過ごしている中で、どのように接したら良いのかといった疑問に感じることがたくさんあり、多くのことを学びたいという思いを胸に臨みました。

米川理事長の「障害児支援の基礎・基本について」では、改めて療育支援の視点について考える機会となりました。越智晴彦先生の「自閉症児者の合理的配慮とエンパワメント」では、自閉症の方への合理的理解について映像を見させて頂き、一人一人の個性に合った配慮を行っていくことが大切であると分かりました。神野幸雄先生の「障害のある幼児の療育実践で大切なこと」では、子ども理解において思いを互いに共有し、人格を尊重し合える対等な人間関係を築き上げていくことが大切であると分かりました。また、まずは母親支援であり、母親の心理状態を理解し、支えて行くことが私たちには重要になっていくのだと思いました。

分科会では、療育実践上の問題についてそれぞれの事例を発表し意見交換、助言を頂き、自分と似ている悩みを持たれている方もおられて、「こんな方法もあるのか」といった意見を聞くことができました。また、他の方の事例を聞く中で、こんな場面ではこのような支援方法もあるのだといったことも学ぶことができ、今後の療育での課題となり、実践していきたいと思いました。

最後に、瀬戸内セミナーに参加して講師の先生方のお話、また、他の施設の方の意見や支援方法など、様々なことを知ることが出来ました。何より、日々の子ども達の姿をよく観察することが大切だと強く感じました。毎日子ども達が安心して楽しく過ごせるような環境作り、支援ができるよう、学んだことを活かし療育に繋げていきたいと思います。

いつもの作業風景

柏の実苑　波谷　詞織

柏の実苑では4つのサークルに分かれて作業を行っています。サークルによって作業内容、作業を行う方法が異なります。今回は私が担当するサークルの作業風景を紹介させて頂きます。

私が担当するサークルでは、主にテンパールから頂いている部品（ヒーター加工・カバー加工）とクロダ加工から頂いているゴムの加工作業を行っています。それぞれ部品の種類によって難易度が異なります。特にヒーター加工とカバー加工は難しく、特定の利用者の方が数名で行って下さっています。その中でもリーダー的な存在の方が仕切って下さっており、職員がその日のノルマ・優先順位を伝えると自分で作業をする用意をし、その後仲間がスムーズに作業を行えるように環境を整えて下さいます。用意が出来てからは「よーし。今日も頑張るぞ。」と気合を入れ、作業開始。丁寧に行って下さり不良もほぼありません。

ゴムの加工作業では、作業工程に興味を持ちにくい方、力が弱い方等いろんな方が携わっています。ゴムのバリを取るのが主な仕事ですが、そのバリが固く綺麗に取れない方もいます。しかしそれを他の利用者の方が「バリ残っとるよ。僕が綺麗にしてあげるね」とフォローに回って下さっています。それぞれ得意不得意がありますが、協力しながら頑張って下さっています。

一人ひとり仕上げる量や内容は異なりますが、それぞれが持っている力を発揮し作業に一生懸命取り組む姿を見て、私も活力をもらっています。

皆さん気分によってムラはありますが、なるべく落ち着いて過ごせるように話を聞いたり、励ましたりしながら達成感が味わえるようにしています。これからも柏の実苑に来ると仲間と一緒に作業が行える、今日も頑張るぞ！　と思えるような環境作りを心掛けていきます。

合同入職式に参加して

瀬野川学園　岩田千奈美

七月二十日に広島県福祉・介護職員合同入職式に参加させていただきました。記念式典では湯﨑知事より激励の言葉をいただき、入職状を授与していただいたことで改めて福祉職員としての自覚を持って働いていこうと思うことができました。記念講演では広島東洋カープ前監督の野村謙二郎さんに「優勝への懸け橋～現場のチームづくり～」という演題で講演をしていただきました。野村さんが辛かった時に人から言われて心が軽くなったとおっしゃっていた〝自分のできることをやりなさい、慌てるな〟という言葉が私に響きました。入職してから分からないことばかりで周りの先輩方を見て慌てていました。しかし、慌てすぎず自分のやるべきこと、できることをしっかりと行っていくことが大切であると再確認することができました。また、働きながら感じたことを記録しておくと後で見返した際、自分の成長を感じることができるとおっしゃっていた為、私も今後感じたことを記録していきたいと思いました。

午後からは、グループに分かれて研修を行いました。キャリアデザインの構築と職場内コミュニケーションの習得というテーマに沿って、四月からの自分のモチベーション変化を振り返ったり、コミュニケーションにおいて重要である伝えること・聞くことについてグループ内でロールプレイングを行ったりしました。四月からの自分を振り返ることもでき、これからの自分自身がどうありたいかということについても考えることができました。

今回の研修では勉強になる講演を聞くことができたと共に、他施設の新職員の方々とも交流することができ貴重な経験をすることができました。まずは、目標に向かって自分がやるべきこと、できることを行っていこうと思います。

待ちに待った民生委員との交流会

安芸柏の実苑　原　歩美

七月六日、安芸区民生委員、児童委員との交流会が行われ、今年度は、ダイヤモンドホテル、マリホ水族館に出かけました。蒸し暑い一日ではありましたが、天候にも恵まれた一日でした。よく知っておられる方が沢山おられ、利用者の皆さんも芸陽車庫で合流するとすぐに笑顔で民生委員の方に駆け寄って話をされていました。バスに乗り、出発。バスの中は、皆さんの楽しそうな会話で溢れていました。

最初に到着したのは、昼食会場のダイヤモンドホテルです。到着すると、とても美味しそうな御膳が机に並べられており、皆さん目がとても輝いていました。あっという間に完食され、口々に「美味しかった」と言われ、豪華な昼食に大満足の様子でした。

昼食の後は、待ちに待った、マリホ水族館です。オープンしてすぐでしたが、待ち時間もほとんどなく入ることができました。マリホ水族館は、生きている水塊を見ることができる水族館です。サンゴ礁の海や、瀬戸内の海、渓流などが、細かく再現されています。また、可愛いクラゲや、チンアナゴ、カクレクマノミなどにも会うことができます。暗闇を怖がる方もおられましたが、皆さんゆっくりと、魚達を鑑賞されていました。大きな水槽では、ダイバーによるパフォーマンスも行われ、ちょうど見学することができた利用者さん達もおられたようです。また、ショップ「空海館」では、海の生き物をモチーフにしたグッズやマリホ水族館オリジナルグッズを販売されており、皆さん人形や時計、お菓子など、好きなものを購入されていました。そして、水族館の後は、マリーナホップ内の散策です。観覧車に乗ったり、カードを購入したりと、皆さん民生委員の方と一緒に時間いっぱい回られていました。帰りのバスでは疲れから眠ってしまう方もおられましたが、民生委員の方々とたくさん交流し、とても楽しい一日でした。

行事予定（9～12月）

法人合同理事

10月
14日　ふれあい祭
31日　法人球技大会

柏学園

10月
21日　親子レクリエーション

12月
6日～8日　家庭訪問
14日　もちつき
25日　クリスマス会
26日　2学期終業

柏の実苑

9月
11日～15日　個別懇談会

10月
19日　中部地区合同運動会

12月
14日　もちつき
25日　年忘れクリスマス会
28日　作業納め

瀬野川学園

9月
9日～17日　個別支援計画面談
16日　ファミリーファーム草取り
30日　瀬野地区民生委員との交流会

10月
8日　ファミリーファーム閉祭式
19日　中部地区合同運動会
22日　秋祭り

12月
9日　もちつき大会
17日　奉仕日
下旬　クリスマス会

安芸柏の実苑

9月
9日～17日　個別支援計画面談
16日　ファミリーファーム草取り
22日　社会見学旅行
30日　瀬野地区民生委員との交流会

10月
8日　ファミリーファーム閉祭式
19日　中部地区合同運動会
22日　秋祭り

12月
9日　もちつき大会
17日　奉仕日
下旬　忘年会

瀬野柏の実苑

9月
9日～17日　個別支援計画面談
16日　ファミリーファーム草取り
30日　瀬野地区民生委員との交流会

10月
8日　ファミリーファーム閉祭式
19日　中部地区合同運動会
22日　秋祭り

11月
24日　社会見学旅行

12月
9日　もちつき大会
17日　奉仕日
下旬　忘年会

安芸柏の実苑通所部

9月
16日　個別支援計画面談
16日　ファミリーファーム草取り
30日　瀬野地区民生委員との交流会

10月
8日　ファミリーファーム閉祭式
19日　中部地区合同運動会
22日　秋祭り

11月
1日　社会見学旅行

12月
9日　もちつき大会
21日　忘年会

ご協力いただいた関係団体

公益財団法人　広島安芸法人会
瀬野川支部　支部長
水野　修治様
瀬野キャンパス家族会様
柏の木会　会長　高　志磨子様
瀬野落合会様
滝沢　韶一様
甲斐野正弘様
村上　陽三様
太尾田一弘様
太尾田マキ子様
天道　一愛様
植田千津子様
松野　順様
地土井克水様

編集後記

夏の強い日差しも少しずつ和らぎ始めました。

今後も行事報告等、様々な記事を掲載していきたいと思っております。皆様のご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。